

e-ビーフNEWS 北の牧場から

January 2017

十勝の正月三日

みなさん あけましておめでとうございます。昨年の天変地異に満ちた波乱の1年に比べ、穏やかな三が日でした。朝の気温はマイナス13℃としばれましたが、雪も風もなくマッパレに晴れ上がった青空が抜けるように気持ちがよかったです。先日降った大雪で真白に覆われた世界は、静けさに包まれています。日中は、マイナス2度と「真冬日」でした。大晦日の紅白番組から明け、餅を食べお節料理をつまみながらお酒をすすり、待ちに待った年賀状で遠方の友の安否を知り、こたつでテレビ三昧の全くの平穏な正月でした。当会も設立して17年目に入ります。無難に運営できたと思いますが、「さて」と振り返ると何が残ったでしょう。肉牛の世界は、高相場のバブルで平和感が漂っています。たとえ相場が下落しても政府マルキンで補てんできると踏んでいるのでしょうか。私たちの社会的使命 何のために肉牛を作っているのか飛んでしまっています。新たに当会の方向性を確認する1年にしてゆきたいと年始早々考えました。



活動のお知らせ

肉牛の飼養技術研修および視察研修 参加者募集 日時 平成29年1月27日(金)~28日(土)/道総研 畜産試験場

- | | |
|----------------------------------|---|
| 1) 肉牛飼養技術研修 27日(金)14:00~16:30 | ・道産牛肉のおいしさについて ・黒毛和種の育成期における2番牧草サイレージ主体TMR給与技術 ・新年度 事業提案 新年会 泊)研修センター |
| 2) 視察研修 28日(土) 9:00~10:00(1時間程度) | ・2番草TMR給与育成牛の肥育試験牛 |

NEWSばか読み

- 経済産業省推計 福島廃炉費用想定2倍の21兆円
11/27:原発どこまでの負担
- 富士通 北欧フィンランドでLED使った植物工場の販売会社設立
11/27:海外で積極的だね
- 日欧EPAで条件大詰め/乳製品に課題 12/3:乳製品の市場が世界を回る
- ディスカバリー農山漁村の宝グランプリに別海町べっかい乳業
12/3:乳の多様化に
- 家畜改良事業団 雌牛の毛根DNA解析で産肉能力推定システムを開発
12/3:間接検定いらぬかも
- 大手量販店 コメも個食タイプで拡販 12/3:小パック時流
- 札幌関税10月 ホタテ不漁で輸出額6割減 12/2:正月ホタテ買えず
- JA富良野 ポテトチップ工場3ヵ月ぶりに稼働 12/2:台風の影響深刻
- OPEC原油8年ぶりに最終合意 12/2:トランプ効果
- 韓国 鳥インフルエンザ拡大245万羽処分 12/2:日本影響浸透
- 農水省 環境保全型直接支払いでCO₂削減7万t 12/2:カウントの仕方
- 王将 自社農場でニンニク栽培し冷凍餃子に使用 12/5:外食内職
- 東京オリンピックに食材調達基準にGAP要件必須
12/5:生産基準の見直し
- 日清食品 20年ぶりに国内で新工場 日本の技術を世界に発信 12/8:内政化
- 経産省 福島廃炉で21兆円試算 12/9:原発コストの見直し必須
- 参議院 TPP可決 12/10:意味あるのかな 何をしたいの

- 外食産業 天ぷら・天丼専門店を拡大 12/10:食のひとつの流れ
- 今年の漢字は「金」 12/13:金持ち優遇
- 米国産牛肉 生産増相場下落でシェア拡大 12/14:来たぞ来たぞ
- ユネスコ「協同組合」を無形文化遺産に登録
12/15:システム認めた事はすごい
- すかいらく 24h営業を縮小 外食深夜営業を減らす
12/16:生活帯の変化
- 鶏インフルエンザ 十勝清水町で発生 12/17:清水町踏んだり蹴ったり
- 全農 1-3月配合飼料を値上げ 12/21:売値を上げてコストも上げる
- 道総研中央農試 飼料米空育181号の栽培拡大
12/21:北海道の飼料米デビュー
- 岩手大学 牛白血病で隔離飼育の清浄化システム作成
12/22:白血病深刻度増す
- 乳牛メーカー酪農基盤強化に年5億円抛出 12/22:実のある投資を
- もんじゅ 廃炉決定循環サイクル崩壊 12/22:最終処理ができない
- 17年度予算 過去最大の97兆円
12/23:これがアベノミクス、将来への重石
- 奈良大 メンデルの法則の優性遺伝子の働きを解明
12/23:今まで分かっていなかった事に驚き
- WHO 鶏インフルの人への感染リスクは少ない 12/24:信頼度チェック
- セブンイレブン全国2万店突破 郵便局を抜く 12/25:コンビニニーズ
- ホクレン コメ卸大手と業務米で10年契約 12/26:ベース確保中身が肝心
- 島根県 中山間村に30歳代子育て女性の入植者増加 12/26:ひとつの流れ

東京直近NEWS (12/29 Shi-REPORT)

ホルス 12月の枝相場は1000円台で落ち着くも、年末に向け安値相場も発生。販売状況としては前半は非常に鈍く静かな状況も、カタロースは月内不足欠品状況から、中旬以降は繁忙期の雰囲気現す。コース、赤身系の追加注文問合せが増加するものの、日常アイテムの在庫調整で年始の玉の前倒し納品レベルと感じた。年末ラストに連れて問い合わせは増えてきたが、例年ほどの盛り上がりはなかった。特に、ヒレやスネ、三角バラなどの季節アイテムも静かな状況で年を終えた。

経産牛 生体市場は肥育物含めて下落傾向変わらず。ガリものはさらに相場は低迷気味。販売状況はホルス同様に鈍く、パーツ、挽材共に活発ではなかった。パーツについては、ローストビーフのブームから赤身系がやや動くも、カタロース、バラ系は不調。ロイン系が潤沢に流れた程度で、各部位余裕はあった。挽材は相変わらず、末端が国産の売場縮小傾向から回復できない。各産地は在庫潤沢により、年度末までに放出する可能性もあり、さらに価格の下げが危惧される。国産牛の高騰から、外食や加工品での使用頻度も低下しており、年明け以降頭数減少も、販売も同時に縮小している

この号は2017年にUpされますが、2016年を振り返ると世界情勢は大きく変わりました。英国のEU離脱国民投票の結果やTPP離脱を明言する米国次期大統領の選出など、わが国の従来型秩序では事が進まない緊張感があります。日本の国会がTPP承認を強行突破したことの説明は農業者に理解されないままです。新聞にもよりますが、今年は北海道の自然災害が及ぼす次年度生産への影響など、熊本地震の被害が道民によく伝わらないのと同様に、関心が薄いと感ずます。農業者は常に多様なローカルな現場対応に追われますが、農政がそれを農民も含めて国民の納得できる全体像にする必要があります。「農なくば稲やかならず」と言います。e-びーふNews37号の学術情報は以下の通りです。

1. 畜産技術2016.11研究レポート「和牛の代謝プログラミングと肉質制御」(後藤貴文: 九大農院)

和牛の代謝プログラミングが何時まで有効かを前号の次に検討しました。その結果、黒毛和種仔牛を3ヶ月齢まで強化哺乳(CP26%, fat25.5%)すると成長能力が向上し、その後10ヶ月齢まで濃厚飼料で高栄養飼養して後、牧草のみで31ヶ月齢まで肥育すると筋肉内脂肪が増加、オレイン酸含量も増加し、脂肪蓄積能の高い黒毛和種牛の哺乳・育成期の代謝プログラミングの有効性が示されました。

2. 日畜会報2016.87:(4),351-359

粗飼料多給肥育における日本短角種去勢牛の飼養成績と血中成長ホルモンおよびプロラクチン濃度の変化について(米澤智恵美他、岩手中央農改)

日本短角種去勢牛に8ヶ月齢からおよそ24ヶ月齢まで粗飼料多給(コーンサイレージ14-28kg/日)で肥育し、血中GHやPRL濃度の経時変化を測定しました。その結果、日本短角種去勢牛に粗飼料多給肥育をしても摂取量の差は小さく体重や血中GH, PRL濃度に影響しないことが示されました。

3. 日畜会報201687(4)333-338

黒毛和種繁殖雌牛集団におけるレプチン遺伝子多型と繁殖形質との関連(川口美岐他、神戸大院農)

体脂肪に含まれるレプチンの遺伝子多型を解明して分娩間隔短縮の選抜マーカーに活用する試みを兵庫県黒毛和種繁殖雌牛集団409個体から16頭について行いました。その結果3つのアミノ酸置換が同定され、そのうちR25Cが有用な選抜マーカーの可能性が示唆されました。

4. 日畜会報2016.87(4),361-366

ブランドイメージがローストビーフを用いた消費者型官能評価に及ぼす影響(阿佐玲奈他、帯畜大)

同じBMS2-4の交雑

種一産取り肥育牛のローストビーフを「十勝ハープ牛と交雑牛」「十勝ハープ牛と経産牛」「十勝ハープ牛と北海道産牛肉」として217人の消費者に2点嗜好法の官能評価を行ったところ全項目で十勝ハープ牛が支持され、ブランドイメージが消費者パネルの嗜好性に大きく影響することが示されました。

5. 日畜会報2016.87(4)381-387

システム分析を利用した褐毛和種周年放牧肥育システムの総合評価(広岡博之他、京大農)

褐毛和種周年放牧肥育生産と慣行の舎飼い肥育生産を发育、飼料利用率、経済性および環境負荷などを総合的に比較する目的でシステム分析手法を開発し、4つの生産システムを想定してシミュレーションを行いました。その結果、何れの放牧肥育生産も发育性や飼料利用率は低く、メタン発生や窒素排泄は増すものの、消費者が45%の付加価値を認めれば、経済性は舎飼い肥育より優ることが示されました。

道総研 畜産試験場NEWS

「和牛繁殖牛・子牛の飼養管理 市場評価の高い子牛を育てるために③ 全6回シリーズ 道総研 畜産試験場 肉牛グループ 佐藤 幸信

牛の胸囲は体重と高い相関がある

| 胸囲 (cm) | 屠体重量(kg) |
|---------|----------|
| 148 | 282.0 |
| 149 | 286.8 |
| 150 | 271.7 |
| 151 | 276.7 |
| 152 | 289.7 |
| 153 | 298.7 |
| 154 | 291.8 |
| 155 | 296.9 |
| 156 | 302.1 |
| 157 | 307.2 |
| 158 | 312.5 |
| 159 | 317.7 |

道総研畜試式
「胸囲-体重」換算表(一部)



「胸囲-体重」換算式

去勢体重=

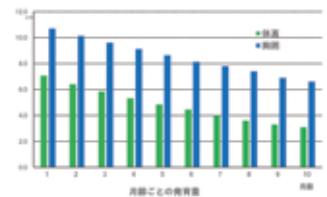
$$\text{EPX} \{(-0.54071) + (0.07248 * \text{胸囲})\} \\ + (-0.0002706 * \text{胸囲}^2) \\ + (0.000003979 * \text{胸囲}^3) \\ + (0.01915)$$

雌体重量=

$$\text{EPX} \{(-0.54071) + (0.07248 * \text{胸囲})\} \\ + (-0.0002706 * \text{胸囲}^2) \\ + (0.000003979 * \text{胸囲}^3)$$

子牛の骨格は発育初期に形成される

黒毛和種標準発育上階級から作成



9ヶ月齢300kg以上にするには毎月胸囲を10cm以上大きくする必要がある

| 去勢 | 胸囲 (cm) | 屠体重量 (kg) |
|-----|---------|-----------|
| 分機時 | 75 | 35.2 |
| 1ヵ月 | 85 | 50.8 |
| 2ヵ月 | 95 | 71.0 |
| 3ヵ月 | 105 | 96.2 |
| 4ヵ月 | 115 | 126.5 |
| 5ヵ月 | 125 | 162.0 |
| 6ヵ月 | 135 | 202.5 |
| 7ヵ月 | 146 | 252.3 |
| 8ヵ月 | 155 | 296.9 |

市場評価が今一步の農家

○ 胸囲の小さい牛が多い



子牛の発育ステージと飼料の優先度

